

霧ヶ峰における平成 30 年度の忌避剤実証試験について

平成 31 年 3 月 7 日
長野県環境部自然保護課

柵以外の新たなニホンジカ食害対策として、樹木用のシカ忌避剤を草本植物へ使用可能とするための試験を企業、県試験研究機関との連携により実施

1 実施内容

効果的な薬剤の使用方法を検討するための面的散布試験（H28～H30）

2 使用薬剤 名称：ランテクター、有効成分（80%）：全卵粉末（環境配慮型）

3 実施体制 企業：保土谷アグロテック株式会社（製造）、大同商事株式会社（販売）
県：林業総合センター、農業試験場、環境保全研究所、
霧ヶ峰自然保護センター、諏訪地域振興局環境課、自然保護課

4 面的散布試験の実施経過

(1) 実施場所 諏訪市 霧ヶ峰高原 車山肩付近（牧野組合所有地）

(2) 実施日 電気柵設置 3月28日

忌避剤散布 7月9日、7月19日

(3) 実施内容

- ① 試験実施前におけるニホンジカの食害を防ぐため、一時的に電気柵（50m×30m）を設置
- ② ニッコウキスゲの開花後に電気柵を撤去し、約 25m×15mの散布区及び同面積の非散布区を設定。散布区に忌避剤を散布し、ニッコウキスゲ等の花や葉に対する食害状況を記録



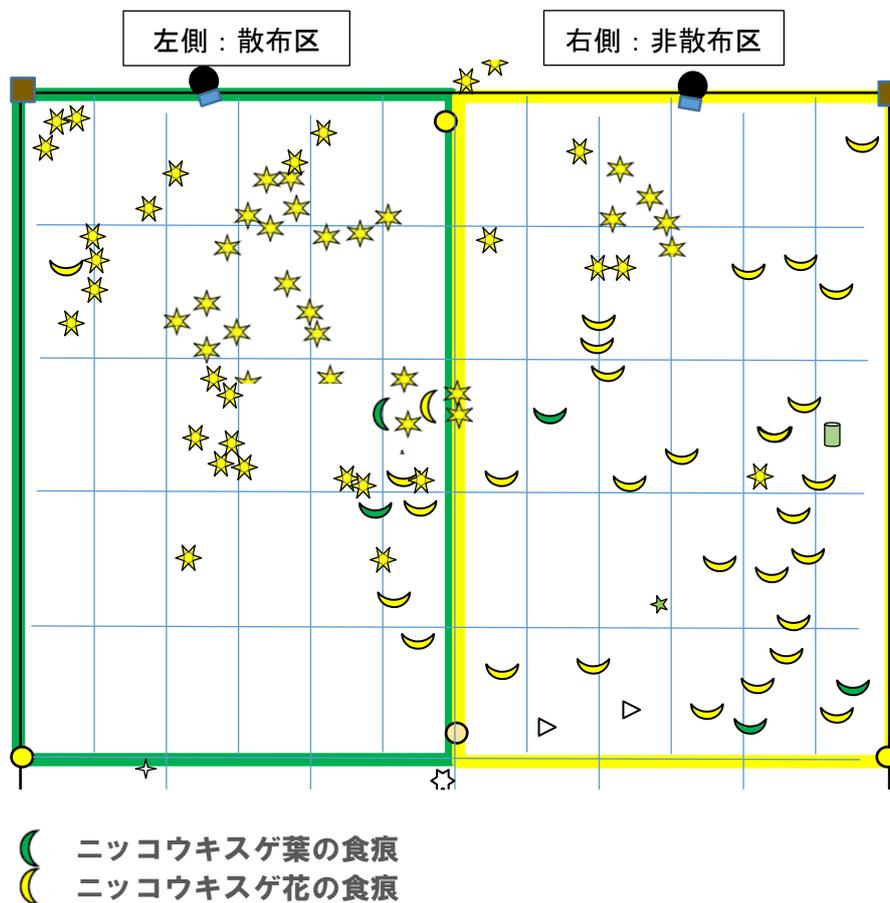
忌避剤散布状況



手前が試験区
奥は協議会による電気柵設置箇所

(4) 実施結果

ニホンジカの食痕は、非散布区で多く、散布区で少ない結果となり、面的散布の効果を確認
しかし、ニッコウキスゲの数自体が少なく、一目で開花状況を比較できる状況には至らず



☾ ニッコウキスゲ葉の食痕
☾ ニッコウキスゲ花の食痕

★ 食害を受けていないニッコウキスゲの茎(花、蕾、果実の何れか)

図 食害確認状況 (平成 30 年 7 月 23 日)

5 今後の予定

今回の試験区については、防護柵で囲って 2 年目であり、ニッコウキスゲをはじめとした植生が回復途中であることから、面的散布の効果をも十分に確認することができなかった。

隣接地では、3 年目以降に植生が大きく回復している例があることから、平成 31 年度についても引き続き同地において面的散布試験を行い、効果を検証したい。